

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東北薬科大学

(2) 大学名

東北薬科大学

(3) 大学の位置

〒981-8558
宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	タカヤナギ モトアキ 高柳元明 (平成13年2月17日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
研究科長	タカヤナギ モトアキ 高柳元明 (平成13年2月17日)		
学部長			
薬学科長	サクラダ シノブ 櫻田忍 (平成22年4月1日)		(23)
生命薬科学科長	タカハタ ヒロキ 高畑廣紀 (平成22年4月1日)		(23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
薬学研究科 薬科学専攻(修士課程) 修士(薬科学)	2年	20人	40人	基礎となる学部等 薬学部生命薬科学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	20人	-	20人	-	0.42倍	
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]		
志願者数	()	()	6	-	24	-		
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[-]		
受験者数	()	()	5	-	24	-		
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[-]		
合格者数	()	()	5	-	18	-		
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[-]		
B 入学者数	()	()	5	-	12	-		
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[-]		
入学定員超過率 B/A			0.25		0.6			

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[-]			○平成23年度1年次の入学生は留学生を含めて12名であるが、平成22年度入学生1名が昨年度休学し、今年度4月1日より復学したため13名となる。○平成23年度2年次生は入学時5名であったが、1名退学し、1名は昨年度休学し、今年度4月1日より復学し原級に留まったため3名となる。
2年次									
3年次									
計	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[-]			
			5	-	13	-			
							3	-	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [-]	(累積)計 [-]	20%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 0人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 0人	
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 5人	
	(主な退学理由) ・就学意欲の低下 1人		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<大学院薬学研究科薬科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	分子創薬学特論	1前		1		1	1					
	分子構造解析学特論	1前		1		1	↓	1				教授が退職し、准教授が教授に昇格
	薬品物理化学特論	1前		1			1	1	↓			助教が講師に昇格
	医薬品化学特論	1前		1		1			1			
	分子生物学特論	1前		1		1	1		1			
	生薬学特論	1前		1		1	1					
	細胞制御学特論	1前		1		1		1	1			
	機能形態学特論	1後		1		1	2		1			講義の充実をはかるため教員を追加(23)担当 渡辺千寿子(助教)
	感染生体防御学特論	1後		1		1	↓					教授退職により、准教授が教授に昇格
	医薬品情報科学特論	1後		1		1			2			
	創薬化学特論	2前		1		1	1	1				講義の充実をはかるため教員を追加(23)担当 太田公規(講師)
	薬品分析学特論	2前		1		1		1				講義の充実をはかるため教員を追加(23)担当 大野賢一(講師)
	薬品合成化学特論	2前		1		1		1				
	生化学特論	2前		1		2	↓	1	↓			講義の充実をはかるため教員を追加(23)担当 宮城妙子(特任教授)及び講師が准教授に昇格
	環境衛生学特論	2前		1		1		1				
	放射薬品学特論	2前		1		1	1		↓			助教が退職
	天然物化学特論	2前		1		1		1				
	機能形態分子学特論	2前		1		1	2		↓			担当者を見直し、教授から助教に変更した(23)担当 永福 正和(助教)
	薬理学特論	2後		1		1			1	1		教授が退職し、准教授が教授に昇格。担当は丹野孝一(教授)の他、講義の充実をはかるため教員を追加(23)担当 中川西 修(講師)、八百板富紀枝(助教)
	病原微生物・化学療法学特論	2後		1		1	↓	1				准教授が退職
	生体膜情報学特論	2後		1		2	↓		1	1		講義の充実をはかるため教員を追加(23)担当 宮城妙子(特任教授)
	演習ゼミナール	1・2通	4			20	9	14	16	15		教員の退職、採用により変更
	課題研究	1・2通	16			24	12	13	15	19		教員の退職、採用により変更

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 21	科目 23	科目 23	[]	[]	[]	[]	「届出時より変更なし」

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合
 「該当なし」

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	37,955.86㎡	—	㎡	—	㎡	37,955.86㎡	
	運動場用地	28,047.00㎡	—	㎡	—	㎡	28,047.00㎡	
	小 計	66,002.86㎡	—	㎡	—	㎡	66,002.86㎡	
	そ の 他	3,300㎡	—	㎡	—	㎡	3,300㎡	
	合 計	69,302.86㎡	—	㎡	—	㎡	69,302.86㎡	
(2) 校舎	専 用	45,021.61㎡	—	㎡	—	㎡	45,021.61㎡	
	53,411.88㎡	(㎡)	(㎡)	(㎡)	
(3) 教室等	講義室	28室	28室	12室	2室	室	大学全体	
					(補助職員 人)	(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	大学院薬学研究科薬科学専攻		36		37 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	大学全体	〔99,595〕	〔951〕	〔4,818〕	—	—	—	
		〔101,199〕	〔958〕	〔5,730〕	—	—	—	
	計	〔41,177〕	〔446〕	〔4,818〕	(444)	(—)	(—)	
〔41,603〕		〔450〕	〔4,883〕	(400)	(—)	(—)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
	2,036㎡		244 215		17万冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	2,496.35㎡		運動場		テニスコート2面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	574千円	574千円	図書購入費	80,668千円	90,620千円	90,620千円
	共同研究費等	267千円	267千円	設備購入費	136,896千円	130,900千円	130,900千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
750千円		750千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、教育研究助成金、受託研究等積極的な外部資金の導入						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		東北薬科大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
薬学科	6年	300人	年次人	1800人	学士(薬学)	1.02倍	平成18年度	宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号	
生命薬科学科	4年	40人		160人	学士(薬科学)	0.8倍	平成18年度		
大学の名称		〇〇短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学系)	高柳元明(61)	平成22年4月							
専	教授	菊地正雄(64)	平成22年4月	分子構造解析学特論 演習 課題研究						平成23年3月 菊地正雄教授退職 「分子構造解析学特論」 は、他に担当教員が2名い るため、支障はない。
専	教授	佐々木有亮(62)	平成22年4月	生化学特論 演習 課題研究						
専	教授	竹下光弘(63)	平成22年4月	医薬品化学特論 演習 課題研究						
専	教授	大川喜男(64)	平成22年4月	感染生体防御学特論 演習 課題研究						平成23年3月 大川 男教授退職 「感染生体防御学特論」 は、他に担当教員があるた め、支障はない。
専	教授	仁田一雄(61)	平成22年4月	分子生物学特論 演習 課題研究						
専	教授	高畑廣紀(61)	平成22年4月	分子創薬学特論 演習 課題研究						
専	教授	遠藤泰之(56)	平成22年4月	創薬化学特論 演習 課題研究						
専	教授	加藤 正(52)	平成22年4月	薬品合成化学特論 演習 課題研究						
専	教授	浪越通夫(58)	平成22年4月	天然物化学特論 演習 課題研究						
専	教授	井ノ口仁一(56)	平成22年4月	機能病態分子学特論 演習 課題研究						
専	教授	東 秀好(54)	平成22年4月	生体膜情報学特論 演習 課題研究						
専	教授	順 建国(46)	平成22年4月	細胞制御学特論 演習 課題研究						
					専	特任教授	宮城妙子(69)	平成23年4月	生化学特論 生体膜情報学特論	平成23年4月より「生化学特論」、「生体膜情報学特論」を担当
専	准教授	柴田信之(53)	平成22年4月	感染生体防御学特論 演習 課題研究	専	教授	柴田信之(54)	平成23年4月	感染生体防御学特論 演習 課題研究	平成23年4月に教授へ昇格
専	准教授	細野雅祐(49)	平成22年4月	分子生物学特論 演習 課題研究						
専	准教授	吉村祐一(47)	平成22年4月	分子創薬学特論 演習 課題研究						
専	准教授	中野博人(49)	平成22年4月	医薬品化学特論 演習 課題研究						平成22年3月 中野博人准教授退職 「医薬品化学特論」は、他 に担当教員が2名いるた め、支障はない。
専	准教授	町田浩一(49)	平成22年4月	分子構造解析学特論 演習 課題研究	専	教授	町田浩一(50)	平成23年4月	分子構造解析学特論 演習 課題研究	平成23年4月に教授へ昇格
専	准教授	高橋央宜(45)	平成22年4月	薬品物理化学特論 演習 課題研究						
専	講師	鈴木桐徳(62)	平成22年4月	演習 課題研究						

					兼担	助教	大竹顕子 (30)	平成23年4月	演習 課題研究	平成23年3月 大竹顕子助教退職
					兼担	助教	小林匡子 (35)	平成23年4月	演習 課題研究	平成23年4月に助手から 助教へ昇格
					兼担	助教	佐々木崇光 (32)	平成23年4月	演習 課題研究	平成23年4月に助手から 助教へ昇格

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「**届出時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
17	43	60	17	20	39	59	15	
(22)	(53)	(65)	(17)	[3]	[△4]	[△1]	[△2]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院薬学研究科薬科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 「FD・SD推進委員会」</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年2回開催（教員8名、事務局1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD活動の企画立案 ・ FD・SD活動の実施計画の立案 ・ FD・SD活動の評価 ・ FD・SD活動に関する情報の収集と提供 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD講演会の実施 ・ 平成21年度後期授業自己評価報告書 ・ 平成22年度前期FD・SD活動報告 ・ 学内ワークショップ終了報告 ・ FD・SD活動の実施計画 ・ 授業アンケート終了報告 ・ 授業の自己評価報告書作成 <p>b 実施方法 委員長が委員を招集し会議を開催する</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年10月26日に委員会を開催（教員8名、事務局1名出席） ・ 平成23年4月12日に委員会を開催（教員7名、事務局1名出席、教員1名欠席） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回学生による授業アンケートを実施し、授業担当教員はその結果を受けて、自己評価報告書を作成し、反映させている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学の建学の精神・理念に照らし、その使命及び目的を達成するため、本学における教育、研究活動等の状況について、自己点検・評価を行い、その水準の向上を図る。自己点検・評価を実施するため、自己点検評価委員会を置き、その中に教育部門、研究部門、管理部門に関する小委員会置き、点検・評価を実施する。小委員会で行った自己点検・評価の結果を自己点検・評価委員会で検証、整理し、体系的総合的な自己点検・評価報告書を作成する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・第1回：対象年（平成元年4月～平成10年3月） 発刊時期：平成11年
- ・第2回：対象年（平成10年4月～平成13年3月） 発刊時期：平成13年
- ・第2回の自己点検評価報告書に基づき、外部評価を実施し、「外部評価報告書」を作成
- ・第3回：対象年（平成14年4月～平成18年3月）は財団法人日本高等教育評価機構からの認証評価を受けるべく、評価機構の評価基準に従い、自己点検・評価を実施した。
- ・第4回：対象年（平成18年4月～平成21年12月）は薬学教育評価機構からの分野別評価を受けるべく、評価機構の評価基準に従い、自己点検・評価を実施した。

b 公表方法

- ・第1回、第2回自己点検・評価報告書は、学内のすべての役員・教職員に配布。その他、二松会・父母会、同窓会、文部科学省等の監督官庁並びに関係官庁等、大学等の研究機関—教育・研究関係（日本高等教育評価機構、日本私立大学協会、日本私立薬科大学協会等）、病院等に配布。
- ・平成19年日本高等教育評価機構実施の自己評価及び平成22年薬学教育評価機構の評価報告書は大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成19年度に日本高等教育評価機構の認定評価を受け、大学評価基準を満たしているとの認定を受けた。
認定期間（平成19年4月1日から平成26年3月31日まで：7年間）
- ・平成25年度に日本高等教育評価機構の機関別評価、平成26年度に薬学教育評価機構の分野別評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年9月30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス 「未定のため、後日連絡いたします」
(http://www.)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。